

シオマネキが元気にくらす 吉野川河口干潟を未来へ

しおまねきサポーターズ募集中

- 1 干潟の掃除を手伝ってくれる人
シオマネキや青ガニがくらしやすい干潟を守るため、清掃活動に参加してくれる方。子どもから大人まで、個人・企業、どなたでも大歓迎です。
- 2 観察会や調査に参加してくれる人
干潟の観察会や、シオマネキ・青ガニの調査に参加してくれる方。家族や友人を誘って参加してくれるとうれしいです。
- 3 干潟の魅力を伝えてくれる人
シオマネキや干潟の面白さを、友だちや家族、SNSなどで伝えてくれる方。子どもたちも大人も、遠くの方も大歓迎です。
- 4 ラムサール登録に関心のある人
吉野川河口のラムサール条約湿地登録に関心のある方、この活動を応援して下さる方も歓迎します。

世界では今、「ネイチャーポジティブ(自然の減少を止め、回復させていくこと)」が大きなテーマになっています。
吉野川河口干潟の自然を守り、未来へつなぐ取り組みに、子どもたちも大人も、企業・団体のみなさんも、ぜひご参加ください。

【登録方法】

- E-mail: info@shiomanekei.net
- または「しおまねきサポーターズ よびかけ人」にお知らせください

【問合先】

- E-mail: kansatsunokai@gmail.com
- TEL・FAX: 088-623-6783
- とくしま自然観察の会 <https://www.shiomanekei.net>

※このリーフレットは、徳島新聞社会文化助成金によって作成されました

しおまねき サポーターズ



シオマネキを守ろう。 吉野川干潟の観察会とクリーンアップ!!

吉野川河口域で当たり前に見られるシオマネキですが、環境省の絶滅危惧Ⅱ類に指定されており、自然度が高い河口周辺に生息するので、吉野川が健康であることの目印だといわれています。しかも吉野川の干潟は徳島市の中心部の近くにあり、人の暮らしのすぐそばにある貴重な自然なのです。

川と海と陸地が出合う河口域は、多くの生物が生きるエネルギーに満ちていると同時に、不安定な場所でもあります。わずかな変化が、生態系にとっても大きな影響を与えることがあります。最近、大型化した台風や出水によって漂着した大量の流木やヨシ片、プラスチックゴミなどが干潟を覆い尽くしてシオマネキの生息地を脅かすことがたびたびあります。

シオマネキが元気に暮らしていることは吉野川が元気であるということ。そしてシオマネキを守っていくことは、豊かな自然環境を次の世代につなげていくことです。

大人も子どもも、遠くの人でも「しおまねきサポーターズ」になって、いっしょに清掃活動や観察会に参加して、吉野川の元気印・シオマネキを守りましょう。

サポーター登録 ※いつでも受け付けています

- おとな／(1口) 500円 ●子ども／100円
- オリジナルのしおまねき缶バッジをプレゼント!
- サポーターズで集まったお金は、干潟の清掃活動やシオマネキの調査など吉野川河口干潟の保全活動に大切にに使わせていただきます。
- この「しおまねきサポーターズ」の呼びかけはとくしま自然観察の会が行っています。



吉野川・住吉干潟の清掃活動



シオマネキのふたかぶせ行動



●シオマネキの主な生息場所

《シオマネキ》

甲幅が約35mmの干潟では大きなカニ。オスの大きなハサミは赤色で白い斑点が目立ちます。泥質の干潟のヨシ原周辺などに生息しますが、各地で開発による干潟の埋立てや環境変化で絶滅が心配されています。



干潟の観察会



青ガニ(シオマネキの稚ガニ)



トビハゼ



ハクセンシオマネキ

写真協力者/
幸田青滋、和田太一